

令和7（2025）年度 児童館事業年間活動報告書

嵯峨児童館

児童館事業	活動名	実施回数	参加人数										合計	内 容	成 果 と 課 題
			乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生	大人	ボランティア					
				自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中学生	大学生	大人			
基	中高生タイム	12						1312	6			1	1319	中学生・高校生の時間として17時以降に卓球やカードゲームなどで遊ぶ。	定着組の利用が多い、館内のルールを守らない人が目立つ。子どもたちの関係性によって利用の仕方の変化が生じることもあった。
本	エコの日	9	1	10	136	4	19	1	2				173	児童館の中でできる環境に考慮した取組の実施。	裏紙の使用・おやつゴミの分別は日常的に実施。児童館でできるエコルールを子どもたちに考えてもらい、習慣づける。単発の取組ではなく、継続した意識づくりが必要。
活	避難訓練	11	3	11	229			20	4	17			284	児童館内で火災・地震等、災害が起きた際の避難の仕方を確認する。	日常的に職員の支持に従ってスムーズに動けるように心がけた避難訓練を実施。地震・火災と限定的な避難方法だけでなく、有事の際にきちんと話を聞けるようにする確認に重きを置いた。月に1度の訓練だけでなく、日常的に聞くときは聞くといった姿勢を持つように指導する必要がある。
動	避難訓練（不審者）	1		3	31			2				1	37	不審者対応について確認。	子どもたちに「いかのおすし」について話をする。悪い人かどうかという判断は、見た目だけではないということを話し、自分たちで考えるきっかけとする。
機	あそぼうDay「入門編」	3		5	90	3	11						109	新年度を迎え、児童館内の部屋・遊びのルールの確認を実施。	各部屋の遊び方・楽しみ方を知る機会となった。
能	あそぼうDay「卓球」	10		9	93	3	20	3	28				156	地域の方に来ていただき、小学生以上が卓球に触れて、楽しむ。	地域の方が来てくださり、小学生にラケットの持ち方やサーブの打ち方を教えていただき、小学生が卓球に親しむきっかけ作りとして楽しむ姿が見られる。
	Pingpong&あそぼうDay「卓球」	1			19			5		2			26	夏休み中に地域の方と一緒に卓球をする。	地域の方が、子どもたちにラケットの持ち方・サーブの打ち方を教えてくださり、高学年の子には高いレベルに合わせて、ラリーするなど、子どもにとって良い機会となった。
	あそぼうDay「トランプ」	3		5	80		11						96	4～5人のチームになってパパ抜き・ジジ抜きをして遊ぶ。	学年をこえてチームを組み、ルールのあるあそびに取り組んでもらうきっかけづくりとしたが、負ける悔しさに耐え切れず、途中でやめようとする児童が多数いた。集団で遊ぶことを通して、協調性や主体性を培ってほしいが、段階に合わせた遊びの提案が必要である。
	あそぼうDay「トランポリン」	1			16			1					17	館内のトランポリンで遊ぶ。	回数や乗り降りの仕方など、ルールを設けたうえで実施したが、危険な降り方をする児童がいた。児童のレベルに応じて、ルールの説明をする必要がある。
	あそぼうDay「ドッジボール」	3		6	58		5						69	ブロック行事に向けて、ドッジボールで遊ぶ。	1年生にはルールが難しかったため、柔軟にルールを変更する。
	あそぼうDay「風船あそび」	4		6	73		9	12					100	夏休み中に地域の方と一緒に卓球をする。	地域の方が、子どもたちにラケットの持ち方・サーブの打ち方を教えてくださり、高学年の子には高いレベルに合わせて、ラリーするなど、子どもにとって良い機会となった。

あそぼうDay「みんなあそび」	2		2	54	4	3								63	
紙コップであそぼう	1	4	5	32		4								47	みんなで、紙コップを使って積んで遊ぶ。 夏休み期間、時間をたくさん使って幼児～小学生で紙コップで遊ぶ。それぞれが創意工夫する場面が見られた。
カーリングであそぼう！	2			33		4								37	段ボールで作ったカーリングを的にめがけて滑らせて遊ぶ。 日頃、できない遊びをみんなで楽しむことができた。滑らすという単純な遊びだったため、学年を問わず、何度も取り組む姿が見られた。
おりがみ週間	3		1	46		9								56	様々な種類の紙ひこうきを折って、的にめがけて遊ぶ。 6月に実施したが、基本的な紙ひこうきを折ることのできない人が多かった。子どもたちの段階に合わせた設定が必要。
みんなであそぼう会	2		12	58		5								75	年度末に小学生対象でみんなあそびを実施。 2日間にかけてみんなあそびを実施し、初日目はものを使わず、2日目は道具を使用する。子どもの様子を見て、レベルを調整したあそびを実施することができ、みんなが楽しんでいる様子だった。
カブラワークショップ	1		1	26	1	7	10							45	株式会社エールの方に来ていただき、カブラの遊び方を教えていただく。 児童館にあるカブラの使い方を改めて教えてもらうことで、日常の遊びの幅が広がるきっかけとなった。
交通安全教室	1			38		5								43	右京警察署・嵐山交通安全推進委員会の方に来ていただき、道の歩き方・自転車の乗り方の指導をしてもらう。 クイズなどのゲームを通して交通ルール
認知症サポーター講座	1			33		4								37	段ボールで作ったカーリングを的にめがけて滑らせて遊ぶ。 日頃、できない遊びをみんなで楽しむことができた。滑らすという単純な遊びだったため、学年を問わず、何度も取り組む姿が見られた。
さがじどうかんこどもまつり	1	24	25	8	6	2								92	児童館内で子どもが考えたあそびコーナー・人形劇を実施。 学童クラブ児童にあそびのコーナーを考えてもらい、準備・当日の運営をしてもらう。乳幼児親子の来館もあったが、全体数としての参加は多くなかったが、子どもたちが自分たちでつくったおまつりという意識をもつきっかけとなった。
クリスマス工作	2		2	23										25	カラーセロハンを使ってスタンドグラス風の工作を実施。 インフルエンザの流行で嵐山小学校の学級閉鎖もあり、参加者は少なかった。細かい作業が必要で、低学年は集中して取り組む様子だった。
クリスマス実行委員会	1					2								2	学童クラブ児童4年生3名にクリスマス会の準備・当日の運営をしてもらう。 前に立ってあそびのルールを説明することで主体性をはぐくむ機会となった。思い通りにならないところもあったが、上の学年として下の学年に教えてあげるという成長した姿が見られた。

	クリスマス会	1		6		2							8	小学生を対象にしたクリスマス会を実施。	クリスマス会実行委員が考えた企画に子どもたちが参加する。1年生から4年生と幅広い学年だったが、全体的に楽しむ様子だった。
	大そうじ	1				22							24	年末年始休館の前に、子どもたちで館内の清掃をする。	小学校の冬休み中のため、参加人数は多くなかったが、自分たちで使った児童館を清掃することで、節目を感じる機会となった。
	むかしあそび	1				26							28	年明けに、むかしあそび（かるた・竹とんぼ・福笑い）を実施。	上の学年がかかるたの読み札えお読んだり、ルールを教えてあげる様子があり、成長を感じられる機会となった。
	大そうじ	1				22							24	年末年始休館の前に、子どもたちで館内の清掃をする。	小学校の冬休み中のため、参加人数は多くなかったが、自分たちで使った児童館を清掃することで、節目を感じる機会となった。
	だがしやさん&エコの日	4	1	37	196	4	7	1	4				250	児童館がだがしやさんとなり、子どもたちはお店でおやつを買って食べる。	子どもたちが自分たちでおやつを選び、買う。おつりの存在を知らない子どもたちもいたため、お金を
	実習会おたのしみ会	1				28							31	京都文教大学の実習生によるお楽しみ会の企画。	実習生にみんなあそびを主に企画を考えてもらう。みんなあそびを通して学年をこえた関係をつくるきっかけとなった。
	合 計	84	33	146	1470	27	164	1343	88	0	2	0	3273		
推 進 活 動															
	合 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	子ども育成機能合計	84	33	146	1470	27	164	1343	88	0	2	0	3273		

*注 基本活動は、指針に基づき(2)遊びの教室活動(3)行事活動(4)クラブ活動(5)地域間交流促進活動(6)障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進(7)思春期児童の活動支援に分類して記入すること。
 推進活動は、指針に基づき(9)地域を知る活動(10)移動児童館活動に分類して記入すること。
 指定活動は、指定児童館のみ別途報告すること。

令和7（2025）年度 児童館事業年間活動報告書

嵯峨児童館

子ども育活機能	活動名	実施回数	参加人数										合計	内 容	成 果 と 課 題
			乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生	大人	ボランティア					
				自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中学生	大学生	大人			
	中高生タイム	12						1312	6			1	1319	中学生・高校生の時間として17時以降に卓球やカードゲームなどで遊ぶ。	定着組の利用が多い、館内のルールを守らない人が目立つ。子どもたちの関係性によって利用の仕方の変化が生じることもあった。
	エコの日	9	1	10	136	4	19	1	2				173	児童館の中でできる環境に考慮した取組の実施。	裏紙の使用・おやつゴミの分別は日常的に実施。児童館でできるエコルールを子どもたちに考えてもらい、習慣づける。単発の取組ではなく、継続した意識づくりが必要。
	避難訓練	11	3	11	229			20	4	17			284	児童館内で火災・地震等、災害が起きた際の避難の仕方を確認する。	日常的に職員の支持に従ってスムーズに動けるように心がけた避難訓練を実施。地震・火災と限定的な避難方法だけでなく、有事の際にきちんと話を聞けるようにする確認に重きを置いた。月に1度の訓練だけでなく、日常的に聞くときは聞くといった姿勢を持つように指導する必要がある。
	避難訓練（不審者）	1		3	31			2				1	37	不審者対応について確認。	子どもたちに「いかのおすし」について話をする。悪い人かどうかという判断は、見た目だけではないということを話し、自分たちで考えるきっかけとする。
	あそぼうDay「入門編」	3		5	90	3	11						109	新年度を迎え、児童館内の部屋・遊びのルールの確認を実施。	各部屋の遊び方・楽しみ方を知る機会となった。
	あそぼうDay「卓球」	10		9	93	3	20	3	28				156	地域の方に来ていただき、小学生以上が卓球に触れて、楽しむ。	地域の方が来てくださり、小学生にラケットの持ち方やサーブの打ち方を教えていただき、小学生が卓球に親しむきっかけ作りとして楽しむ姿が見られる。
	Pingpong&あそぼうDay「卓球」	1			19			5		2			26	夏休み中に地域の方と一緒に卓球をする。	地域の方が、子どもたちにラケットの持ち方・サーブの打ち方を教えてくださり、高学年の子には高いレベルに合わせて、ラリーするなど、子どもにとって良い機会となった。
	あそぼうDay「トランプ」	3		5	80		11						96	4～5人のチームになってババ抜き・ジジ抜きをして遊ぶ。	学年をこえてチームを組み、ルールのあるあそびに取り組んでもらうきっかけ作りとしたが、負ける悔しさに耐え切れず、途中でやめようとする児童が多数いた。集団で遊ぶことを通して、協調性や主体性を培ってほしいが、段階に合わせた遊びの提案が必要である。
	あそぼうDay「トランポリン」	1			16			1					17	館内のトランポリンで遊ぶ。	回数や乗り降りの仕方など、ルールを設けたうえで実施したが、危険な降り方をする児童がいた。児童のレベルに応じて、ルールの説明をする必要がある。
	あそぼうDay「ドッジボール」	3		6	58		5						69	ブロック行事に向けて、ドッジボールで遊ぶ。	1年生にはルールが難しかったため、柔軟にルールを変更する。
	あそぼうDay「風船あそび」	4		6	73		9	12					100	夏休み中に地域の方と一緒に卓球をする。	地域の方が、子どもたちにラケットの持ち方・サーブの打ち方を教えてくださり、高学年の子には高いレベルに合わせて、ラリーするなど、子どもにとって良い機会となった。

あそぼうDay「みんなあそび」	2		2	54	4	3								63	
紙コップであそぼう	1	4	5	32		4								47	みんなで、紙コップを使って積んで遊ぶ。 夏休み期間、時間をたくさん使って幼児～小学生で紙コップで遊ぶ。それぞれが創意工夫する場面が見られた。
カーリングであそぼう！	2			33		4								37	段ボールで作ったカーリングを的にめがけて滑らせて遊ぶ。 日頃、できない遊びをみんなで楽しむことができた。滑らすという単純な遊びだったため、学年を問わず、何度も取り組む姿が見られた。
おりがみ週間	3		1	46		9								56	様々な種類の紙ひこうきを折って、的にめがけて遊ぶ。 6月に実施したが、基本的な紙ひこうきを折ることのできない人が多かった。子どもたちの段階に合わせた設定が必要。
みんなであそぼう会	2		12	58		5								75	年度末に小学生対象でみんなあそびを実施。 2日間にかけてみんなあそびを実施し、初日目はものを使わず、2日目は道具を使用する。子どもの様子を見て、レベルを調整したあそびを実施することができ、みんなが楽しんでいる様子だった。
カブラワークショップ	1		1	26	1	7	10							45	株式会社エールの方に来ていただき、カブラの遊び方を教えていただく。 児童館にあるカブラの使い方を改めて教えてもらうことで、日常の遊びの幅が広がるきっかけとなった。
交通安全教室	1			38		5								43	右京警察署・嵐山交通安全推進委員会の方に来ていただき、道の歩き方・自転車の乗り方の指導をしてもらう。 クイズなどのゲームを通して交通ルール
認知症サポーター講座	1			33		4								37	段ボールで作ったカーリングを的にめがけて滑らせて遊ぶ。 日頃、できない遊びをみんなで楽しむことができた。滑らすという単純な遊びだったため、学年を問わず、何度も取り組む姿が見られた。
さがじどうかんこどもまつり	1	24	25	8	6	2								92	児童館内で子どもが考えたあそびコーナー・人形劇を実施。 学童クラブ児童にあそびのコーナーを考えてもらい、準備・当日の運営をしてもらう。乳幼児親子の来館もあったが、全体数としての参加は多くなかったが、子どもたちが自分たちでつくったおまつりという意識をもつきっかけとなった。
クリスマス工作	2		2	23										25	カラーセロハンを使ってスタンドグラス風の工作を実施。 インフルエンザの流行で嵐山小学校の学級閉鎖もあり、参加者は少なかった。細かい作業が必要で、低学年は集中して取り組む様子だった。
クリスマス実行委員会	1					2								2	学童クラブ児童4年生3名にクリスマス会の準備・当日の運営をしてもらう。 前に立ってあそびのルールを説明することで主体性をはぐくむ機会となった。思い通りにならないところもあったが、上の学年として下の学年に教えてあげるという成長した姿が見られた。

	クリスマス会	1		6		2							8	小学生を対象にしたクリスマス会を実施。	クリスマス会実行委員が考えた企画に子どもたちが参加する。1年生から4年生と幅広い学年だったが、全体的に楽しむ様子だった。
	大そうじ	1			22		2						24	年末年始休館の前に、子どもたちで館内の清掃をする。	小学校の冬休み中のため、参加人数は多くなかったが、自分たちで使った児童館を清掃することで、節目を感じる機会となった。
	むかしあそび	1			26		2						28	年明けに、むかしあそび（かるた・竹とんぼ・福笑い）を実施。	上の学年がかかるたの読み札えお読んだり、ルールを教えてあげる様子があり、成長を感じられる機会となった。
	大そうじ	1			22		2						24	年末年始休館の前に、子どもたちで館内の清掃をする。	小学校の冬休み中のため、参加人数は多くなかったが、自分たちで使った児童館を清掃することで、節目を感じる機会となった。
	だがしやさん&エコの日	4	1	37	196	4	7	1	4				250	児童館がだがしやさんとなり、子どもたちはお店でおやつを買って食べる。	子どもたちが自分たちでおやつを選び、買う。おつりの存在を知らない子どもたちもいたため、お金を
	実習会おたのしみ会	1			28		3						31	京都文教大学の実習生によるお楽しみ会の企画。	実習生にみんなあそびを主に企画を考えてもらう。みんなあそびを通して学年をこえた関係をつくるきっかけとなった。
	合 計	84	33	146	1470	27	164	1343	88	0	2	0	3273		
推 進 活 動															
	合 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	子ども育成機能合計	84	33	146	1470	27	164	1343	88	0	2	0	3273		

*注 基本活動は、指針に基づき(2)遊びの教室活動(3)行事活動(4)クラブ活動(5)地域間交流促進活動(6)障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進(7)思春期児童の活動支援に分類して記入すること。
 推進活動は、指針に基づき(9)地域を知る活動(10)移動児童館活動に分類して記入すること。
 指定活動は、指定児童館のみ別途報告すること。

令和7（2025）年度 児童館事業年間活動報告書

嵯峨児童館

子ども育活機能	活動名	実施回数	参加人数										合計	内 容	成 果 と 課 題
			乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生	大人	ボランティア					
				自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中学生	大学生	大人			
	中高生タイム	12						1312	6			1	1319	中学生・高校生の時間として17時以降に卓球やカードゲームなどで遊ぶ。	定着組の利用が多い、館内のルールを守らない人が目立つ。子どもたちの関係性によって利用の仕方の変化が生じることもあった。
	エコの日	9	1	10	136	4	19	1	2				173	児童館の中でできる環境に考慮した取組の実施。	裏紙の使用・おやつゴミの分別は日常的に実施。児童館でできるエコルールを子どもたちに考えてもらい、習慣づける。単発の取組ではなく、継続した意識づくりが必要。
	避難訓練	11	3	11	229			20	4	17			284	児童館内で火災・地震等、災害が起きた際の避難の仕方を確認する。	日常的に職員の支持に従ってスムーズに動けるように心がけた避難訓練を実施。地震・火災と限定的な避難方法だけでなく、有事の際にきちんと話を聞けるようにする確認に重きを置いた。月に1度の訓練だけでなく、日常的に聞くときは聞くといった姿勢を持つように指導する必要がある。
	避難訓練（不審者）	1		3	31			2				1	37	不審者対応について確認。	子どもたちに「いかのおすし」について話をする。悪い人かどうかという判断は、見た目だけではないということを話し、自分たちで考えるきっかけとする。
	あそぼうDay「入門編」	3		5	90	3	11						109	新年度を迎え、児童館内の部屋・遊びのルールの確認を実施。	各部屋の遊び方・楽しみ方を知る機会となった。
	あそぼうDay「卓球」	10		9	93	3	20	3	28				156	地域の方に来ていただき、小学生以上が卓球に触れて、楽しむ。	地域の方が来てくださり、小学生にラケットの持ち方やサーブの打ち方を教えていただき、小学生が卓球に親しむきっかけ作りとして楽しむ姿が見られる。
	Pingpong&あそぼうDay「卓球」	1			19			5		2			26	夏休み中に地域の方と一緒に卓球をする。	地域の方が、子どもたちにラケットの持ち方・サーブの打ち方を教えてくださり、高学年の子には高いレベルに合わせて、ラリーするなど、子どもにとって良い機会となった。
	あそぼうDay「トランプ」	3		5	80		11						96	4～5人のチームになってババ抜き・ジジ抜きをして遊ぶ。	学年をこえてチームを組み、ルールのあるあそびに取り組んでもらうきっかけ作りとしたが、負ける悔しさに耐え切れず、途中でやめようとする児童が多数いた。集団で遊ぶことを通して、協調性や主体性を培ってほしいが、段階に合わせた遊びの提案が必要である。
	あそぼうDay「トランポリン」	1			16			1					17	館内のトランポリンで遊ぶ。	回数や乗り降りの仕方など、ルールを設けたうえで実施したが、危険な降り方をする児童がいた。児童のレベルに応じて、ルールの説明をする必要がある。
	あそぼうDay「ドッジボール」	3		6	58		5						69	ブロック行事に向けて、ドッジボールで遊ぶ。	1年生にはルールが難しかったため、柔軟にルールを変更する。
	あそぼうDay「風船あそび」	4		6	73		9	12					100	夏休み中に地域の方と一緒に卓球をする。	地域の方が、子どもたちにラケットの持ち方・サーブの打ち方を教えてくださり、高学年の子には高いレベルに合わせて、ラリーするなど、子どもにとって良い機会となった。

あそぼうDay「みんなあそび」	2		2	54	4	3								63	
紙コップであそぼう	1	4	5	32		4								47	みんなで、紙コップを使って積んで遊ぶ。 夏休み期間、時間をたくさん使って幼児～小学生で紙コップで遊ぶ。それぞれが創意工夫する場面が見られた。
カーリングであそぼう！	2			33		4								37	段ボールで作ったカーリングを的にめがけて滑らせて遊ぶ。 日頃、できない遊びをみんなで楽しむことができた。滑らすという単純な遊びだったため、学年を問わず、何度も取り組む姿が見られた。
おりがみ週間	3		1	46		9								56	様々な種類の紙ひこうきを折って、的にめがけて遊ぶ。 6月に実施したが、基本的な紙ひこうきを折ることのできない人が多かった。子どもたちの段階に合わせた設定が必要。
みんなであそぼう会	2		12	58		5								75	年度末に小学生対象でみんなあそびを実施。 2日間にかけてみんなあそびを実施し、初日目はものを使わず、2日目は道具を使用する。子どもの様子を見て、レベルを調整したあそびを実施することができ、みんなが楽しんでいる様子だった。
カブラワークショップ	1		1	26	1	7	10							45	株式会社エールの方に来ていただき、カブラの遊び方を教えていただく。 児童館にあるカブラの使い方を改めて教えてもらうことで、日常の遊びの幅が広がるきっかけとなった。
交通安全教室	1			38		5								43	右京警察署・嵐山交通安全推進委員会の方に来ていただき、道の歩き方・自転車の乗り方の指導をしてもらう。 クイズなどのゲームを通して交通ルール
認知症サポーター講座	1			33		4								37	段ボールで作ったカーリングを的にめがけて滑らせて遊ぶ。 日頃、できない遊びをみんなで楽しむことができた。滑らすという単純な遊びだったため、学年を問わず、何度も取り組む姿が見られた。
さがじどうかんこどもまつり	1	24	25	8	6	2								92	児童館内で子どもが考えたあそびコーナー・人形劇を実施。 学童クラブ児童にあそびのコーナーを考えてもらい、準備・当日の運営をしてもらう。乳幼児親子の来館もあったが、全体数としての参加は多くなかったが、子どもたちが自分たちでつくったおまつりという意識をもつきっかけとなった。
クリスマス工作	2		2	23										25	カラーセロハンを使ってスタンドグラス風の工作を実施。 インフルエンザの流行で嵐山小学校の学級閉鎖もあり、参加者は少なかった。細かい作業が必要で、低学年は集中して取り組む様子だった。
クリスマス実行委員会	1					2								2	学童クラブ児童4年生3名にクリスマス会の準備・当日の運営をしてもらう。 前に立ってあそびのルールを説明することで主体性をはぐくむ機会となった。思い通りにならないところもあったが、上の学年として下の学年に教えてあげるという成長した姿が見られた。

	クリスマス会	1		6		2							8	小学生を対象にしたクリスマス会を実施。	クリスマス会実行委員が考えた企画に子どもたちが参加する。1年生から4年生と幅広い学年だったが、全体的に楽しむ様子だった。
	大そうじ	1			22		2						24	年末年始休館の前に、子どもたちで館内の清掃をする。	小学校の冬休み中のため、参加人数は多くなかったが、自分たちで使った児童館を清掃することで、節目を感じる機会となった。
	むかしあそび	1			26		2						28	年明けに、むかしあそび（かるた・竹とんぼ・福笑い）を実施。	上の学年がかかるたの読み札えお読んだり、ルールを教えてあげる様子があり、成長を感じられる機会となった。
	大そうじ	1			22		2						24	年末年始休館の前に、子どもたちで館内の清掃をする。	小学校の冬休み中のため、参加人数は多くなかったが、自分たちで使った児童館を清掃することで、節目を感じる機会となった。
	だがしやさん&エコの日	4	1	37	196	4	7	1	4				250	児童館がだがしやさんとなり、子どもたちはお店でおやつを買って食べる。	子どもたちが自分たちでおやつを選び、買う。おつりの存在を知らない子どもたちもいたため、お金を
	実習会おたのしみ会	1			28		3						31	京都文教大学の実習生によるお楽しみ会の企画。	実習生にみんなあそびを主に企画を考えてもらう。みんなあそびを通して学年をこえた関係をつくるきっかけとなった。
	合 計	84	33	146	1470	27	164	1343	88	0	2	0	3273		
推 進 活 動															
	合 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	子ども育成機能合計	84	33	146	1470	27	164	1343	88	0	2	0	3273		

*注 基本活動は、指針に基づき(2)遊びの教室活動(3)行事活動(4)クラブ活動(5)地域間交流促進活動(6)障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進(7)思春期児童の活動支援に分類して記入すること。
 推進活動は、指針に基づき(9)地域を知る活動(10)移動児童館活動に分類して記入すること。
 指定活動は、指定児童館のみ別途報告すること。

令和7（2025）年度 児童館事業年間活動報告書 （嵯峨）児童館

活動名	実施回数	参加人数										合計	内 容	成果と課題		
		乳幼児	小1～3年 自由来館	小1～3年 学童クラブ	小4～6年 自由来館	小4～6年 学童クラブ	中学生	大人	ホランディア 中学生	ホランディア 大学生	ホランディア 大人					
乳幼児さんよっいで～	9	47									48	95	月に1回程度、保護者のリフレッシュを目的に取組を実施。	保護者同士が話しやすいようにカードゲームや工作などの取組を実施し、リフレッシュの機会を設けることができた。		
乳幼児さんよっいで～ 「救命講習会」	1	5									8	13	右京消防署の方に来ていただき、乳幼児向けの救命講習会を実施。	乳幼児の救命講習・顔触時の応急処置仕方などを実技を通して学ぶ。参加者からは、改めて学ぶ機会がないため、受講して良かったという声が多かった。		
ばんだ広場	12	50					5				47	102	言語聴覚氏の先生・はぐくみ室の保健師さんに来ていただき、子どもの遊びの様子を見てもらいながら子育て相談ができる場とする。	月に一度の実施で、毎回2～3組の参加がある。もともとは相談目的ではなくても、遊びの様子から些細なことを相談できる機会となった。		
あそびの広場（自由あそび）	38	144					13			143	5	305	館内のおもちゃを使って自由に遊べる場とする。	ゆったりと自由に遊べる場を求めて来館される親子が多い。今後も継続して実施していきたい。		
あそびの広場（大型遊具）	31	146			1						145	4	296	すべり第・トランポリンなどの大型遊具で遊べる場とする。	月曜日に取組をしている施設が少ないことから、継続的に参加する親子が多かった。お今後も月曜に実施していきたい。	
ふわふわクラブ	31	115									9	105	2	231	0～1歳半までの子どもとその保護者を対象にしたクラブ。	年度途中での引越しや保育園入園などで登録者が減少。継続的な出席は3～4組程度となったが、保護者同士の関係作りは良好だった。
おひさまクラブ	29	142									9	120	4	275	1歳半以上の子どもとその保護者を対象にしたクラブ。	昨年度から継続して登録する親子が多かった。クラブをきっかけに近隣の幼稚園などに一緒に行くなど、関係性が出来上がっている様子。親子の成長を継続して見届けることができた。
わくわくキッズランド	1	13									12			25	小学校の夏休み前に乳幼児向けのおまつりを実施。	学童クラブの小学生にチラシ作り・当日までの準備・運営をしてもらう。当日は3年生の子どもたちがあそびのコーナーを運営し、乳幼児親子と積極的に関わる様子だった。土曜日という乳幼児親子も、楽しく参加する様子となった。
令和8年度学童クラブ登録申請・入会説明会	4	18	11								81			110	令和8年度学童クラブ新規登録を検討している世帯に対して登録申請の説明を実施。	新規登録希望の世帯にあらかじめ取ったアンケートでの質問に回答したことで、保護者の抱く不安の解消につながった。
令和8年度学童クラブ登録家庭面談	6	28	4		1						26			65	令和8年度学童クラブ新規登録世帯との面談を実施。	事前に子ども・保護者・児童館との三者で面談することにより、共有しておくべきことの確認や不安解消につながった。
															令和8年度学童クラブ登録世帯に対しての説明会を実施。	2日間実施することで、保護者に来てもらいやすく設定。新規1年生の世帯は欠席する世帯も少なく、説明を実施することができた。
															入会説明会を欠席した世帯に対しての個別の入会説明を実施。	入会説明会を欠席した世帯に対して説明を実施。認識の相違が出ないように資料を渡すだけでなく確認を取りながら説明を行った。
合 計	162	708	15	0	2	0	36	735	0	15	0	1517				
(3) 子育て家庭相談・援助活動	子どもの年齢	件数	受 理 及 び 相 談 経 路			件数	相 談 内 容			件数	つないだ機関等			件数		
	乳児 幼児	13 35	児童館にて直接受理 児童相談所 保健所			78	健全育成問題 家庭養育問題 成長・発達問題 教育問題 非行・問題行動 その他			10 48	児童相談所 保健所 子ども支援センター 幼稚園・保育園			1 2 1		
	小1～3年（自由来館）	15	子ども支援センター				20	小学校 中学校 総合支援学校 その他								
	小1～3年（学童）	5	主任児童委員													
小4～6年（学童）	10	その他														
中学生 高校生		{ }				{ 友だち関係 }				{ }						
	件数 計	78	-			78	-			78	-			4		
(4) 子育てグループを育成・支援する活動	グループ名	構成人数	活 動 内 容			育 成 ・ 支 援 内 容			成 果 と 課 題							
推進活動 (5) 子育てと健全育成に関する啓発活動	活動名	実施回数	活 動 内 容			成 果 と 課 題										

※注 基本活動は、指針に基づき(1)乳幼児とその保護者を対象とする活動(1)乳幼児クラブ活動 (2)乳幼児の広場活動(2)家族参加を促す活動に分類して記入すること。

令和7（2025）年度 児童館事業年間活動報告書 (嵯峨) 児童館

地域 福祉 本 社 活 動 能	(1) 地域住民との交流を促進する活動	活動名	実施回数	主催	参加人数				連携団体	成果と課題			
		乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生	大人			合計		
					自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ					
		PingPong	9								Pingpong	Pingpongに卓球をしに來られる地域の方は「あそぼうDay卓球」にも参加していただき、継続的な交流に繋がる。	
		嵐山らんらんサロン	8		46						嵐山民生児童委員協議会	様々な取組をされており、その取組を目的に來館される利用者も多い。児童館を会場とすることで日頃利用する親子が参加しやすいようだ。	
		あそび交流会	1								右京区の児童館	右京区内の児童館の子どもたちが集まり、オセロ・将棋の交流戦を実施。今年度はオセロのみ参加。	
		移動動物園	1								嵯峨民生児童委員協議会・健光園嵯峨ひかり広場	土曜日開催のため、多くの方で賑わっていた。	
		右京ドッジボール大会	1						1		右京区の児童館	右京のブロック交流行事として、ドッジボールの退会に参加する。普段は交流しない他館の児童と一緒にドッジボールをしたり、待ち時間にあそび交流をするなど、良い体験となった。	
		嵯峨子育てサロン	1		3						嵯峨民生児童委員協議会	今年度は1回、嵯峨小学校で実施されるサロンに向き、ふれあいあそびや絵本の読み聞かせをする。参加者は常に嵯峨児童館に遊びに來ている親子で、ゆったりとした時間を過ごしてもらうことができた。	
		合計	21	—	113	17	0	6	0	1	0	336	
(2) ボランティア活動の推進		活動内容			活動人数				成果と課題				
					中学生	大学生	大人	合計					
		嵯峨美術大学 ボランティア演習				84			84	嵯峨美術大学の学生がボランティア演習で來館する。児童館の取組への参加や子どもと関わってもらった。また、取組の準備物制作もしてもらい、児童館の活動を知ってもらう機会となった。			
		合計			0	84	0	84					
(3) 地域との連携を促進する活動		連携団体等	連携内容						成果と課題				
		嵯峨民生児童委員協議会	嵯峨子育てほっとサロンに定期的に向き、ふれあいあそびや絵本の読み聞かせを実施。毎月1回児童館だよりの配布をおこなう。						嵯峨子育てほっとサロンに向き、関わった乳幼児親子がその後児童館へ継続的に來てくれるようになっている。				
		嵐山民生児童委員協議会	嵯峨児童館で実施する「嵐山らんらんサロン」において、ふれあいあそびや絵本の読み聞かせを実施。毎月1回児童館だよりの配布をおこなう。						乳幼児クラブで宣伝をすることで参加者が増えた。らんらんサロンで、初めて児童館に來られる乳幼児親子には積極的に声をかけ、児童館の利用につながる乳幼児親子もいた。				
		右京区内の児童館	右京ブロック交流行事への参加・協力。						右京ブロック交流行事として、右京ブロック児童館まつりやあそび交流会に参加。				
		右京消防署嵯峨出張所	避難訓練の実施を依頼。						火事の際の逃げ方について指導していただく。また職員の情報訓練の講評・消火器の使い方も教えていただいた。				
		右京中央老人福祉センター	毎月1回児童館だよりの配布を行う。						児童館の存在や事業のPRとなり、連携の手立てとなった。				
		右京区子どもはぐくみ室	乳幼児親子向けの子育て講座の講師依頼をする。また月に1回のばんだ広場で保健師に來ていただき、子育て相談を実施してもらう。地域の子育て支援の情報も共有する。						子育て講座では離乳食や乳幼児期の食事についてお話いただいた。ばんだ広場では子育て相談の実施と、子育て支援の情報共有をすることができた。				
		嵐山小学校	入学式・卒業式への出席。児童館だよりを全校生徒へ配布する。定期的に児童の様子を情報共有する。						児童館だよりを全校生徒に配布してもらうことにより、学童クラブ児童以外の小学生の児童館事業への参加が多数あった。定期的に児童の情報共有をすることができた。				
		嵯峨小学校	月に1回児童館だよりの配布を行う。						児童館の存在や事業のPRとなり、連携の手立てとなった。				
		嵐山自治連合会	児童館だよりの地域掲示板への掲示依頼をする。						掲示板に児童館だよりを掲示してもらうことで、児童館の取組への参加につながった。				
		嵯峨体育振興会	月に1回児童館だよりの配布を行う。						児童館の存在や事業のPRとなり、連携の手立てとなった。				
		嵯峨交通安全推進委員会	月に1回児童館だよりの配布を行う。						児童館の存在や事業のPRとなり、連携の手立てとなった。				
		右京少年輔導委員会嵯峨支部	月に1回児童館だよりの配布を行う。						児童館の存在や事業のPRとなり、連携の手立てとなった。				
		嵯峨ひかり広場	移動動物園を共催する。月に1回児童館だよりの配布を行う。						児童館の存在や事業のPRとなり、連携の手立てとなった。				
		嵯峨自治連合会	月に1回児童館だよりの地域回覧を依頼する。						児童館の存在や事業のPRとなり、連携の手立てとなった。				
		嵐山学区社会福祉協議会	月に1回児童館だよりの配布を行う。						児童館の存在や事業のPRとなり、連携の手立てとなった。				
	嵐山体育振興会	月に1回児童館だよりの配布を行う。						児童館の存在や事業のPRとなり、連携の手立てとなった。					
	嵐山交通安全推進会	交通安全教室への協力を依頼する。月に1回児童館だよりの配布を行う。						児童館の存在や事業のPRとなり、連携の手立てとなった。					
	右京警察署	小学生向けの交通安全教室を依頼をする。						小学生向けにクイズやゲームを交えて道路の歩き方や路切・信号の渡り方について話をしていただく。また、自転車の乗り方についての話もしていただき、交通ルールの確認をとれるよい機会となった。					

		組織名称		構成団体・個人		会議/取組頻度		議題/取組内容		成果と課題	
基本活動	(4)児童館を支える地域組織作り	運営協力会		嵯峨教育振興会、嵯峨自治会連合会、嵯峨社会福祉協議会、嵯峨民生児童委員協議会、右京少年補導委員会嵯峨支部、嵯峨交通安全推進会、嵯峨体育振興会、嵐山学区社会福祉協議会、嵐山自治会連合会、嵐山民生児童委員協議会、右京少年補導委員会嵐山支部、嵐山交通安全推進会、嵐山体育振興会、京都市立嵯峨中学校、京都市立嵯峨小学校、京都市立嵐山小学校、京都市立嵯峨小学校PTA、京都市立嵐山小学校PTA、京都市嵯峨児童館学童クラブ保護者代表		年2回		年間の活動計画及び活動報告 地域の情報共有		児童館の事業内容を報告し、理解や協力を得て連携し合うことができている。今後も引き続き運営協力会での地域の情報交換や共有を行っていく。	
		子育て支援ステーションネットワーク会議研修		嵯峨教育振興会、嵯峨自治会連合会、嵯峨社会福祉協議会、嵯峨民生児童委員協議会、右京少年補導委員会嵯峨支部、嵯峨交通安全推進会、嵯峨体育振興会、嵐山学区社会福祉協議会、嵐山自治会連合会、嵐山民生児童委員協議会、右京少年補導委員会嵐山支部、嵐山交通安全推進会、嵐山体育振興会、京都市立嵯峨中学校、京都市立嵯峨小学校、京都市立嵐山小学校、京都市立嵯峨小学校PTA、京都市立嵐山小学校PTA、京都市嵯峨児童館学童クラブ保護者会、嵯峨こぼと保育園、まこと幼児園、うぐいす保育園、若竹保育園		年1回		年間の活動計画及び活動報告 地域の情報共有、活動の協力		参加者が少ないこともあるが、児童館の事業内容を報告し、理解や協力を得て連携し合うことができている。今後も引き続き地域の情報交換や共有を行っていく。	
		会場提供・備品貸出等		使用目的		提供先(団体・機関等)		成果と課題			
(5)地域への施設提供		嵐山らんらんサロン		嵐山民生児童委員協議会主催の子育てサロンとの連携を図り、子育て支援を行う。地域の方に児童館の存在を知ってもらい、今後の利用につなげる。		嵐山民生児童委員協議会		取組内容によって、参加者のばらつきはあるがサロンに初めて来られた方も、その後の利用につながっている。			
推進活動	(6)地域調査活動	調査名	調査目的	調査対象	調査主体		調査方法		成果と課題		
		児童館利用者共通アンケート	児童館運営に対する意識調査及び児童館運営の参考にするため	児童館利用者 (小学生・中学生・保護者)	京都市社会福祉協議会 児童館		児童は利用時に記入してもらい回収。中学生・保護者にはウェブから回答できるようにした。結果はおたよりに掲載し公表した。		中学生・乳幼児の保護者にはウェブでの回答は手軽ではあり、その場で回答してもらえたので、昨年度より回答率が上がった。対して学童クラブ保護者にもウェブでの解答を依頼したが、回答率は低かった。しっかりと利用者のニーズや思いを知る大切な機会として、丁寧に呼びかけ回答をいただくようにしたい。		
		乳幼児クラブアンケート (ふわふわ/おひさま/午前中の乳幼児の活動)	母親の感想や希望調査・次年度の運営の参考のため	乳幼児クラブ登録保護者	児童館		乳幼児クラブ最終回や広場などで配布し記入・回収。		保護者の思いや要望などを知ることができた。次年度の事業計画を立てる際の参考となった。		
子育て講座アンケート	企画に対する意見や感想を知り、今後の企画の参考にするため	講座参加者	児童館		終了時にその場で記入・回収。		参加者の思いを知ることができ、次年度の企画を考える参考になった。				

令和7（2025）年度

児童館事業年間活動報告書

（嵯峨）児童館

	広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題
広 報 活 動	さがじどうかんリーフレット	随時	新規利用者	来館者に配布	社会福祉協議会の行動指針と、嵯峨児童館の利用や行事の予定	初めて来館された利用者に児童館について知ってもらうために活用。
	じどうかんだより	月1回	児童、嵯峨・嵐山学区地域住民や保育園・幼稚園、嵯峨・嵐山小学校、嵯峨中学校、北嵯峨高校、乳幼児クラブ登録者、右京子どもはぐくみ室、右京中央老人福祉センター、嵯峨ひかり広場など	【おたより】来館者に配布、地域回覧、嵐山小学校に全校配布、はぐくみ室・老人福祉センターに置いてもらう、ホームページに掲載 【ポスター】児童館、地域掲示板に掲示	月の行事予定 毎月の行事報告	嵐山小学校への全校配布は目を通してもらいやすい、ホームページにも載せているので、他学区の利用者も来館された。
	乳幼児クラブ登録案内 (ふわふわクラブ・おひさまクラブ)	年1回	乳幼児クラブ登録者	クラブ登録者に配布	クラブの進め方、約束など	乳幼児クラブの流れや約束事などについて記載し説明も行うことで、登録前にルールを守って参加してもらえた。
	乳幼児クラブ 毎月の予定	毎月1回	乳幼児クラブ登録者	クラブ登録者に配布	各クラブの翌月の予定	内容や持ち物等について伝えることで、保護者に見通しを持って出席してもらえた。
	学童クラブ入会のしおり	年1回	学童クラブ登録家庭	全家庭に配布	学童クラブの約束など	学童クラブ登録家庭には配付。新しく学童クラブへ入会される際には、しおりを基に丁寧に説明を行うことができ、学童での生活のイメージを持ってもらうことができた。
	学童クラブだより さがFriends	毎月1回	学童クラブ登録者	全家庭にウェブにて配信	学童クラブの活動報告	学童クラブの予定、子どもたちの様子、連絡事項等毎月の活動報告。ウェブ配信とペーパー配付の双方を活用する。